

# 第140回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成19年11月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	10,104	-0.60	-0.09	4,088	0.49	-0.07
東部地区	14,319	-0.53	-0.01	5,557	0.92	-0.10
西部地区	10,793	0.11	-0.08	3,960	2.45	0.12
駅南地区	6,442	1.08	0.01	2,646	2.47	0.15
半田地区	3,559	2.18	0.05	1,299	4.42	0.07
横山地区	5,702	0.40	0.22	1,856	1.47	0.32
茨目・田尻地区	6,896	-0.84	0.05	2,294	-0.90	0.13
荒浜地区	5,247	-1.07	-0.03	2,017	0.59	0.14
その他地区	21,624	-1.94	-0.10	7,190	-0.96	-0.04
西山町地区	6,529	-1.90	0.04	2,151	-0.92	0.18
高柳町地区	2,062	-4.49	-0.33	851	-1.95	-0.35
柏崎市計	93,277	-0.77	-0.03	33,909	0.58	0.03
刈羽村	4,977	-0.55	-0.18	1,517	0.73	-0.13
小国地区（長岡市）	6,626	-1.45	-0.25	2,154	0.23	0.13
出雲崎町	5,379	-1.23	-0.07	1,833	0.27	0.05
合計	110,259	-0.82	-0.05	39,413	0.55	0.03

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市が726人、0.77％、刈羽村が28人、0.55％、小国地区（長岡市）が98人、1.45％、出雲崎町が67人、1.23％とそれぞれ減少し、全体では919人、0.82％の減少となっている。

また、前月比においても、柏崎市が29人、0.03％、刈羽村が9人、0.18％、小国町が17人、0.25％、出雲崎町が4人、0.07％と減少し、全体では59人、0.05％の減少となった。

一方、世帯数は前年同月比で柏崎市が196世帯、0.58％、刈羽村が11世帯、0.73％、小国町が5世帯、0.23％、出雲崎町が5世帯、0.27％と増加していることから、全体では217世帯、0.55％の増加となっている。

また、前月比においても、刈羽村が2世帯、0.13％と減少したものの、柏崎市が11世帯、0.03％、小国町が3世帯、0.13％、出雲崎町が1世帯、0.05％と増加したことから、全体では13世帯、0.03％の増加となった。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,243		1.71		-2.12	
月間有効求職者	1,050		-8.61		-8.37	
月間有効求人倍率	1.18	1.01	0.12*	-0.09*	0.07*	-0.02*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では月間有効求人数が1,243人と前年同月比で21人、1.71％の増加となったが、前月比では27人、2.12％と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,050人と前年同月比で99人、8.61％、前月比でも96人、8.37％と共に大幅な減少となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.18倍と前年同月比で0.12ポイント上回り、前月比でも0.07ポイント上回っており、県平均1.01倍に対しても0.17ポイントも上回っている。なお、月間有効求人倍率は6カ月連続で1.00倍を超えている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が531人と前年同月比で92人、20.96％の大幅な増加となったものの、月間新規求職者数は246人と前年同月比で61人、19.87％と大幅に減少した結果、月間新規求人倍率は2.16倍となり前年同月1.43倍を0.73ポイントと大幅に上回った。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成19年11月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 ( 併 用 )	103	79	-11	355	73
共 同 住 宅	3	0	3	10	-1
事 務 所	2	0	1	7	2
作 業 所 ・ 工 場	3	2	0	19	-1
営 業 建 物	3	-2	3	17	-5
公 共 建 物	0	-1	0	1	-5
そ の 他	13	7	2	79	-18
合 計	127	85	-2	488	45

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、「中越沖地震」の復旧による影響で当月申請合計が127件と前年同月比で85件の大幅な増加となったが、前月比では2件の減少となっている。工種別内訳の主な増減を見ると、一般住宅(併用)が前年同月比で79件の大幅な増加となった一方、前月比では11件の減少となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が42件、増築が56件、改築が29件となっており、一般住宅(併用)における市内・市外施工業者別確認件数は、市内施工業者が59件(うち新築15件、増築35件、改築9件)、市外施工業者が44件(うち新築14件、増築14件、改築16件)となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,390	1.02	-0.03	18,366	3.64	6.78
電 力	11,803	-5.52	0.86	45,415	-3.07	-6.44

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で666口、1.02%の増加となったものの、前月比では20口、0.03%の減少となった。一方、電力では前年同月比で690口、5.52%の減少となったが、前月比では101口、0.86%の増加となっている。

使用量においては、電灯が前年同月比で646kwh、3.64%の増加、前月比でも1,167kwh、6.78%と大幅に増加している。一方、電力においては前年同月比で1,441kwh、3.07%の減少、前月比でも3,129kwh、6.44%の大幅な減少となった。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,066,422	-8.23	46.10	715,438	-3.49	0.48
営 業 用	179,572	4.48	24.62	129,617	-0.21	-3.52
工 場 用	474,337	3.90	-9.42	141,871	-4.71	-7.58
官 公 学 校 用	356,522	8.05	83.68	83,742	1.04	-6.21
そ の 他				-730	-860.41	-621.42
合 計	2,076,853	-2.05	30.47	1,069,938	-3.01	-1.77

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域では「中越沖地震」の復旧が本格化しており、ガス供給量は用途全体では前年同月比で43,568m<sup>3</sup>、2.05%の減少となったものの、前月比では485,119m<sup>3</sup>、30.47%と大幅な増加となった。用途別内訳を見ると、前年同月比は家庭用が大幅に減少しており、前月比では工場用を除き全ての用途で大幅な増加となっている。

一方、水道給水量は前年同月比で33,209m<sup>3</sup>、3.01%の減少、前月比でも19,343m<sup>3</sup>、1.77%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比で官公学校用を除く全ての用途で減少し、前月比でも家庭用を除く全ての用途で減少となっている。なお、その他は前月分の調整を当月にしたことでマイナス表示になっている。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	87,234	14.03	-3.56	90,238	13.54	-4.35
西 山	53,430	26.71	-4.11	48,547	29.28	-2.63
米 山	23,916	6.13	-12.13	22,488	9.49	-13.02
合 計	164,580	16.56	-5.08	161,273	17.23	-5.16

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で23,384台、16.56％と大幅な増加となったが、前月比では8,820台、5.08％の減少となっている。

一方、出口においても、全体では前年同月比で23,710台、17.23％の大幅な増加、前月比では8,787台、5.16％の減少となった。

インター別の内訳を見ると、全てのインターの入口及び出口では前年同月比で増加、前月比で減少しており、特に前年同月比では柏崎・西山インターの入口及び出口で2桁台の増加率を示している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	342,117	5.84	0.63	145,179	4.79	2.19
平 残	339,749	5.05	1.12	142,171	4.00	3.47

預金は、末残が前年同月比で18,898百万円、5.84％の増加、前月比でも2,170百万円、0.63％の増加となっている。また、平残においても前年同月比で16,348百万円、5.05％の増加、前月比でも3,783百万円、1.12％の増加となり、末残、平残ともに堅調に推移している。

一方、貸出金においても、末残が前年同月比で6,639百万円、4.79％の増加、前月比でも3,113百万円、2.19％の増加となり、平残も前年同月比で5,473百万円、4.00％の増加、前月比でも4,780百万円、3.47％と大幅な増加となっており、預金と同様に末残、平残ともに堅調な推移を示している。

## 8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,303	-8.93	-11.43
交 換 金 額	4,300	-8.50	-11.72
不 渡 り 手 形 枚 数	0	-100.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-100.00	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で520枚、8.93％の減少、前月比でも685枚、11.43％と大幅に減少している。また、交換金額においても、前年同月比で399百万円、8.50％の減少、前月比でも571百万円、11.72％の減少となっている。なお、不渡り手形は今年5月から7ヵ月連続で発生しておらず、前年同月比で12枚、25百万円の減少となった。

当月の法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は2件（前年同月1件、前月5件）、負債総額39億円（同28億円、同12億円）、1件当たりの負債額19億円（同28億円、同2億円）となった。

地区別では下越地区1件（新潟市1件）、中越地区1件（十日町市1件）、上越地区は発生していない。業種別は製造業1件、サービス業・その他1件で、倒産原因別の状況は販売不振2件となっている。

当月の県内企業倒産は2件、負債総額で39億円と件数、負債総額ともに前年同月を上回っており、大型倒産（負債総額10億円以上）も1件、負債総額39億円発生している。

企業を取り巻く経営環境は、原油などの素材価格の高騰が、さらに企業の収益を圧迫しつつあるなど厳しい状況にあり、特に小規模企業については一段と厳しい状況が継続することが予想される。